

# ペルーの思春期女子の 健康と保護



© UNICEF/UNI40748/BALAGUER

**2020-2022 年度の資金援助：**  
米ユニセフへ100 万米ドル

**目標：**

思春期の若者、特に女子の健康ニーズに時宜をえた対応をするサービス能力を向上させ、フアンカベリカ及びウカヤリ地方の学校内暴力を防止します。

**具体的な目標：**

- 精神衛生面でのケアと女子への暴力予防に重点を置き、質が高く包括的、且つ年代別の思春期ケア（特に女子のため）を提供する保健部門の対応を改善します。

- 保健を促進し、学校におけるあらゆる種類の暴力、特にジェンダーに基づく暴力を予防し、タイムリーに対処するために、保護部門と教育部門の能力を向上させます。

**思春期の女子の健康と保護プロジェクトは、**先住民族や農村部の青少年、特に女子たちの権利の保障に貢献します。又、質が高く、ジェンダーに配慮し、文化的に適合した保健・教育・保護サービスを提供することで、妊娠の予防、精神衛生問題への対処、及び暴力からの保護環境を提供するなど、彼らのニーズに応えることを目的としています。

ペルー政府が12歳から17歳と定義している思春期は、人口の11.2%、350万人を占めています。最近まで、ユニセフの子どもへのプログラムは、幼年層に焦点を当てたものであったので、大人へのサービスは、思春期の明確なニーズに対応するように設計されていません。

**このプロジェクトにより以下の人たちが恩恵を受けます。：**

- 31,082人の青少年（約15,230人が女子）
- 10の保健所から100名の保健担当者
- 24校72名の校長と教師
- 恩恵を受ける思春期の人たちがいる14,000世帯

# フアンカベリカとウカヤリ地方の思春期の若者たち

- フアンカベリカ地方では、64.1%の若者が保健サービスを利用していました。このうち、54.2%が思春期総合保健計画にアクセスしていました。
- その総合保健計画にアクセスした若者のうち、栄養状態の検査を受けたのは36.3%、暴力の調査を受けたのは53.8%に過ぎませんでした。
- フアンカベリカ地方の思春期の若者のうち57.2%が中等教育を修了しており、14.1%の女子が妊娠しているか、すでに母親となっています。
- ウカヤリ地方では、40,935人の若者が外来の保健サービスを利用していました。このうち、思春期の総合的な健康管理を開始した者はわずか12.7%で、完了した者はわずか4.4%でした。
- ウカヤリ地方の若者の58.2%が中等教育を修了しており、思春期女子の20.2%が妊娠しているか、すでに母親になっているかのいずれかです。

※データは2018年のもの



## 戦略

- 思春期、特に女子の積極的な参加を得て、保健ケアのガイドライン又はプロトコル（例えば、子どもに対する暴力事例の積極的な特定）などを、開発又は更新します。
- 思春期保健における保健ケアおよびその他サービス提供者のための現場研修プログラムを実施します。研修は5単位で、思春期の性と生殖の健康、思春期の精神衛生、栄養、ジェンダーと思春期の健康、思春期の保健サービスの効果的な管理などを学びます。
- 思春期の若者たちの健康と総合的な発達に関する情報やサービスへのアクセスを改善するためのコミュニケーション戦略を実施します。
- プロジェクト地域の保健サービスと保護サービス間のコミュニケーションと照会の仕組みを強化します。
- 性的暴力の事例に適切に対応できるよう、保健担当者の能力を高めます。
- 中学校で健康的なライフスタイルと環境を促進する戦略を実施します。  
含まれているのは：学校の年間計画の中で必ず健康増進を優先して行うためのアドボカシー活動、高品質のリプロダクティブヘルス教育、ヘルスキオスク（簡易保健設備）ガイドラインの実施のための技術的援助と支援、学校環境を改善する計画の開発（レクリエーション・スペースのための田畑の整地、トイレの改善など）です。
- プロジェクトを行う地域的女子が経験する暴力に重点を置いて、学校における暴力防止のための方法を体系的に立案し、評価し、実施します。
- プロジェクトを行う学校における学校との共存や暴力防止のための診断・モニタリングツールを開発します。
- 校内暴力への対応方法について校長と教師の研修を行い、校内暴力報告の仕組みを教育界に広めます。
- 国や地方レベルで、成人が犯す校内暴力に対する行政制裁を実施するためのメカニズムを強化します。

## 期待される成果



プロジェクトを行う保健施設で、精神衛生問題の検査を受けた若者の数が10%増加。



プロジェクトを行う保健施設で、総合的な保健ケアを受けている若者の数が5%増加。



100人の医療従事者が、若者に配慮した保健ケアと性暴力ケースへの適切な対応についての研修を受けます。



10の保健施設で、他の業界とも協働して、身体的、心理的、あるいは性的暴力の事案に対処するように研修を行います。



プロジェクトを行う8つの学校で、精神的または性的な健康と栄養に関する健康増進活動を生徒たちに提供します。

24の学校で、健康的なライフスタイルと環境を促進する健康増進活動を提供します。又、証拠に基づく身体的、性的暴力の防止戦略と、学校を基盤とした対応戦略を実施します。

72校の校長と教師が、暴力を認識し、報告メカニズムを用いた暴力対応プロトコルを実施するために訓練を受けます。